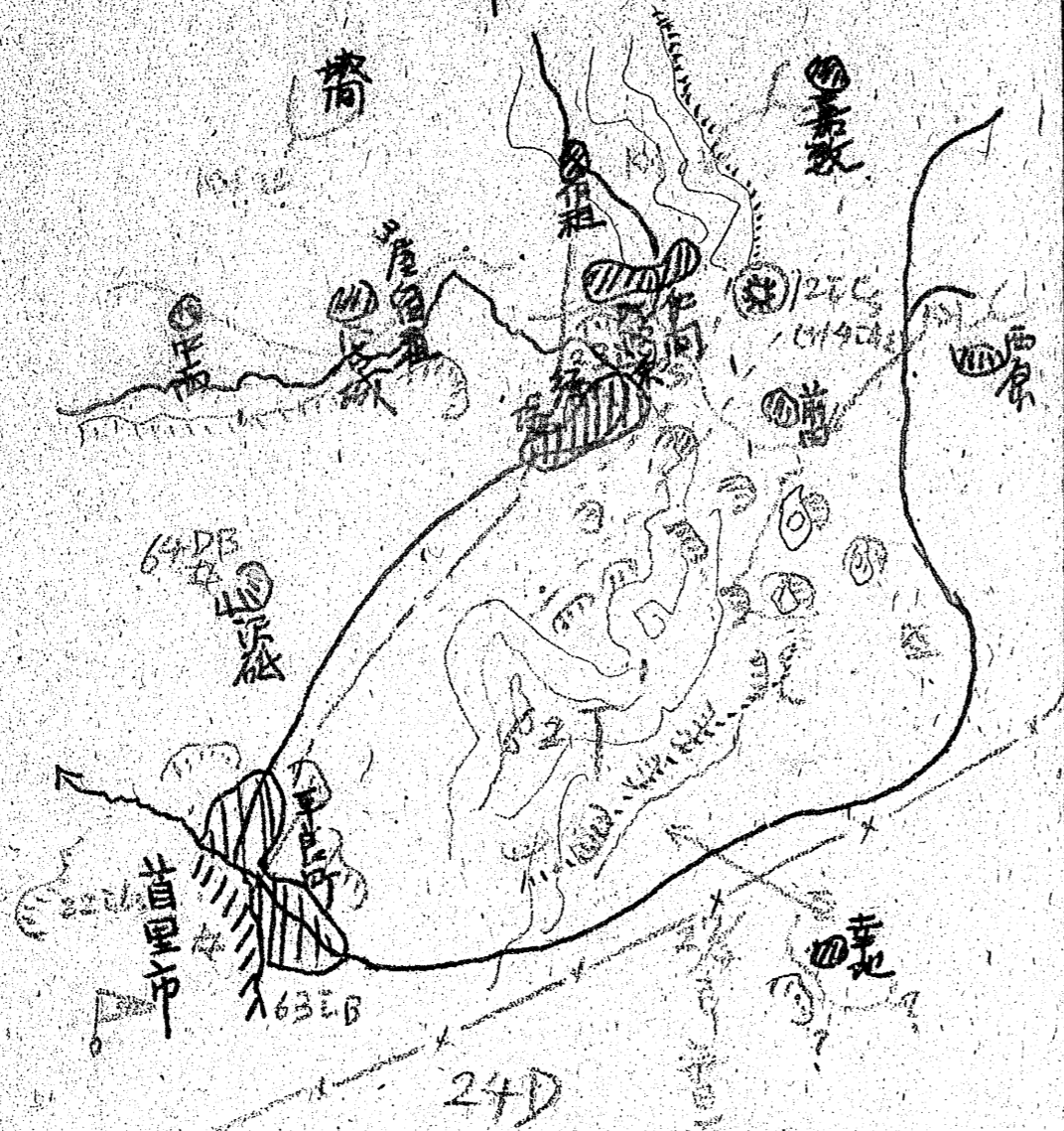


四月二十九日敵進出状況



重隊之ヲ果敢セリ
 軍ハ前田仲内附近陣地ノ重要性ニ鑑ミテ二十四師団ノ一部
 ヲ以テ之ヲ奪取シ五月始メ行ハルヲ總攻具ノ支障多シク
 ヲ知置スルトヨリテ先リ毎才三十二隊隊ハ主力ヲ以テ仲
 内前田東方高地線ヲ一舉ニ奪取スバク首里市平良
 所ヨリ経路ヲ経テ先リ仲内及其ノ北側高地ニ突進セリ
 四月二十九日 天長ノ佐部ニシテ我ガ志氣旺ナリ前田附近ノ陣地ニ并
 ス攻襲ハ依然熾烈ニモ其ノ他ノ戦線ハ概シテ低調ナリ
 師団ハ先リ兵才十四旅団長ヲ以テ陣地現陣地保持ヲ重要
 ニ新ニ配属セラレタル特報獨立隊ノ兵才三大隊ヲ其ノ指揮ニ令セ
 渡川ニ依然敵ノ大小ノ舟艇頻數ニ着岸シ兵才及
 戦斗資材ヲ揚陸シテリテ西海岸道方面ノ補給主ト
 シテ同地ヨリ行ヒアリスノト判断セラル

昨日米徑坂ヲ經テ仲向ニ突入ルル歩兵才三十二隊隊主カハ此方面
ノ起濃密ニ敵ノ砲道律ニ阻止セシ仲向村端附近ニ於テ全
隊的打撃ヲ受テ才二大隊長ノ指揮スル小部隊(一〇名位)獨歩十
二大隊ノ位置ニ違レモ其ノ他ハ殆ど殆ど附近ニ於テ收容中ニモ
ノノ如シ

四月三十日十時頃皇海一團到ル協同ノ下ニ敵車十數輛ヲ伴フ有
力志敵ハ幸地方向ヨリ眞志堂陣地ニ進軍シ来リ所在部
隊之ヲ邊襲シテ接戦乱斗ナリ時同ニ及ビ幸ノシテ之ヲ集
退セリ 師團ハ仲向東北側ニ馬車ヲ受ケル獨立歩兵才十
二大隊主カノ救援トシテ歩兵才六十三旅團ニ配属未吉附近
ニ位置セシ獨立歩兵才三木隊ヲ獨立歩兵才二大隊長ノ
指揮下ニ入ラシメ終極方向ヨリ仲向東北高地ノ奪回ニ
任セシム

五月一日、仲向東北陣地ニ在リテ獨歩才三十二大隊ハ四月二十七日以來敵ノ
包圍馬車ヲ受ケタル儘ニテ仲向部落ハ全ク敵ノ占領スル所
トナリ又幸地方向ヨリスル前田南方眞志堂陣地ニ付ル攻襲ハ
連日及復シテ浦添方向又砲兵陣地ノ奪取益ニシテ彼我ノ損
害追仲セリ 軍ハ新ニ軍醫部隊及特設獨立歩兵才三大隊ヲ
師團ニ配属セシム才六十四旅團長ノ指揮ニ入ラシム
又陸上勤務才三十二中隊ヲ患者輸送隊一隊ヲ配属セラレ才六
十三師團野戰病院長ノ指揮ニ入ラシム

五月二日、軍ハ全般ノ敷瓦上ヨリ五月四日ヲ期シ復攻襲ヲ敢行スル事ニ決シ
才六十二師團方面ガ概シテ守勢地区ニ才二十四師團方面ヲ以テ主
四面ニテ是セラレ夫々諸準備ニ着手セリ
而シテ既ニ敵ニ奪取セラレタル才六十二師團右翼、仲向前附近ハ
軍地ハ才六十四師團ノ一部ヲ以テ之ヲ奪回シ攻勢發展
ノ支障ナラシム如ク四月二十八日以來歩兵才三十二隊隊ヲ

シテ 所在部隊トノ協力ノ下ニ之ヲ奪回攻撃ニ任ゼシメラル
ト敵ノ緊密ナル陸海空ノ熾烈ニ協同砲火ニ阻止セラル
部隊ハ仲向側附近ニ於テ鐵威的打撃ヲ受テ其ノ一部ヲ
二大隊ノ長以下約百名ハ二十九日早ラテ捕虜ヲ十二大隊長ノ
位置ニ潜入シタル殘留部隊ハ猛烈地端附近ニ於テ今南
態勢整理中ナルモノノ如シ
前田仲向附近ノ敵ハ次ヲ増加セテ前田村落ニ在ッ
テハ戰車十數輛ヲ望見ス
軍八師團ニ配屬中ノ特編才四隊隊及獨立迫撃砲才三
才八中隊ヲ現位置ニ於テ才二十四師團長ノ指揮ニ入ラ
シメラル

五月三日

五月四日 早朝ヨリ我カ砲兵ノ攻撃準備射撃ニ層接シテ第二十四師團
至カ八合線攻勢ニ轉シ紛然無悶萬雷地軸ヲ震ハシ砲煙天ニ冲シテ
津浦悲愴ヲ極ム 敵師團右翼前田仲向ノ以テ亦之ニ和シテ乱戦
カ攻要地奪回ニ務メ突猛進セシ大砲ノ如ク 落下スル砲爆彈ニ阻マレテ
傷續去シ及ツテ歩一歩ト敵ハ進出シテ其ノ兵力ハ次第ニ増加シ一途途ヲ
遮リ物量ノ差ハ限リテ山向軍精神ヲ以テニテハ補フ術ナク仲向又
前田村落附近ハ完全敵ノ佔有スル所トナリ 所攻築屋富和
中西方面モ亦大牙齧斷死闘ノ及覆ミテ形勢利テラス要地據吳ハ
次ト玉碎シ師團ニ在リテハ最早注入スキ予備兵力盡出トナリ
五月五日 前日ノ攻勢ハ進行セラレ主攻撃方面ニ在リテハ柵原東西ノ線ニ
進出シ積有和ノ狀ヲ呈セルモ弁勢地区タル才六十二師團正面ニ於テハ

歩一歩ト厄迫セラレ殊ニ仲向東方要地ノ敵ハ東西全線ヲ伏撃ニ趨優
勢ナル砲迫弾ハ我カ攻撃部隊ヲ前後ニ寸断ニテ連絡今杜絶シ
成果不明ノ状態ニ在リテ夕刻ニ及リ 早ハ二日ニ亘ル攻勢ヲ中止シ
日俾地線ニ集約整理シテ之ヲ固弁ニ持テ久本血戦ヲ強行ス(其ノ
口決セシ軍命令ヲ下達セラレ)師團ノ戦斗地区ヲ北東ニ移シ、安里、天久
附近ノ防禦ヲ独ニ強クシテ四旅團ニ担任セシメラル
而シテ河以ニ在リシ歩兵部隊又特攻隊ニ歩兵第天隊ヲ師團指揮
ヨリ脱シ独ニ強クシテ四旅團長ノ指揮ニ入ラシメテ独ニ砲才一聯隊ノ
一中隊及尾崎大隊ヲ師團ノ指揮トシ入ラシメラル
師團ハ尾崎大隊ヲ歩兵第百十四旅團長ノ指揮ニ入ラシメテ白砲一中隊又
裏ニ配属ヲ受ケタル白砲才五中隊ト共ニ前田南方地区ニ陣地ヲ占領
セシメ歩兵第百十三旅團長ノ指揮ニ入ラシム

五月六日 夜未 歩兵第百十三聯隊ハ石嶺附近ニ後退シ其ノ態勢ヲ整理中
ナルモノト知シ前田村落附近ノ敵ハ有力ナル戦車ヲ伴ヒ其ノ南方
陣地ニ對シ朝未猛攻シ来リ 所在部隊ハ之ヲ邀撃セシモ戰車ヲ退スルニ至ラ
ズ 独歩十一大隊ハ其ノ陣地ノ大半ヲ喪失セリ 裏ニ独歩三歩兵才十
二大隊長ノ指揮ニ入ラシメテ經隊方ヨリ仲向東北ニ進攻セシメタル 独三
歩兵第百七十三大隊ハ其ノ攻撃ヲ奏功スルニ至ラズ依然經隊南端
附近ニ在リテハ損耗大ナル状態ニ在リ以テ一時平良野附近ニ後退セシ
メ其ノ態勢ヲ整理セシム

五月七日 朝未 戦車十輛ヲ伴フ有力ナル敵ハ前田附近ヨリ其ノ南方高
地線ニ對シ猛攻シ来リ 同陣地ハ首里飛行場方ヨリ敵ニ狭撃ヲセラ
レテ遂ニ其志ヲ達ス及其ノ附近據拠ノ一部ヲ奪取セラルルニ至リ 独歩
十一大隊ハ再東攻ヲ受ケテ連絡不能ニ陥レリ 夜入リテ所在師團報
重隊長ハ精銳部隊ヲ抽出シテ之等ヲ援兵ニ對シテ奇襲ヲ敢行シ

其大部ヲ奪回スリ又仲向ヲ占領セシ敵ハ我カ配備ノ向際ヲ浸透シテ
テ經塚部路中尖附近ニ進去シテ三河波榮ヲ固弁スル也此年二十三
大隊ハ殊孤之ノ状態ニ陥リ歩兵第六十四夜團正面亦漸次決死附近
ノ要線ニ壓迫セラレ戰況不利ニテ最早態勢挽回ノ方途ヲ考ヘテ
スリ

五月八日 歩兵第六十三夜團長ハ河波榮附近ニ奮戰中ノ山本支隊及其
ノ他所駐部隊ヲ以テ自田ニ直リ是期右附近ニ於テ再東攻撃ヲ受
ケ逼息シテ止独歩第六十二大隊ノ援去攻撃ヲ實施セシテ先毛敵ハ意
志ニ強カニテテ成功スルニ至ラス

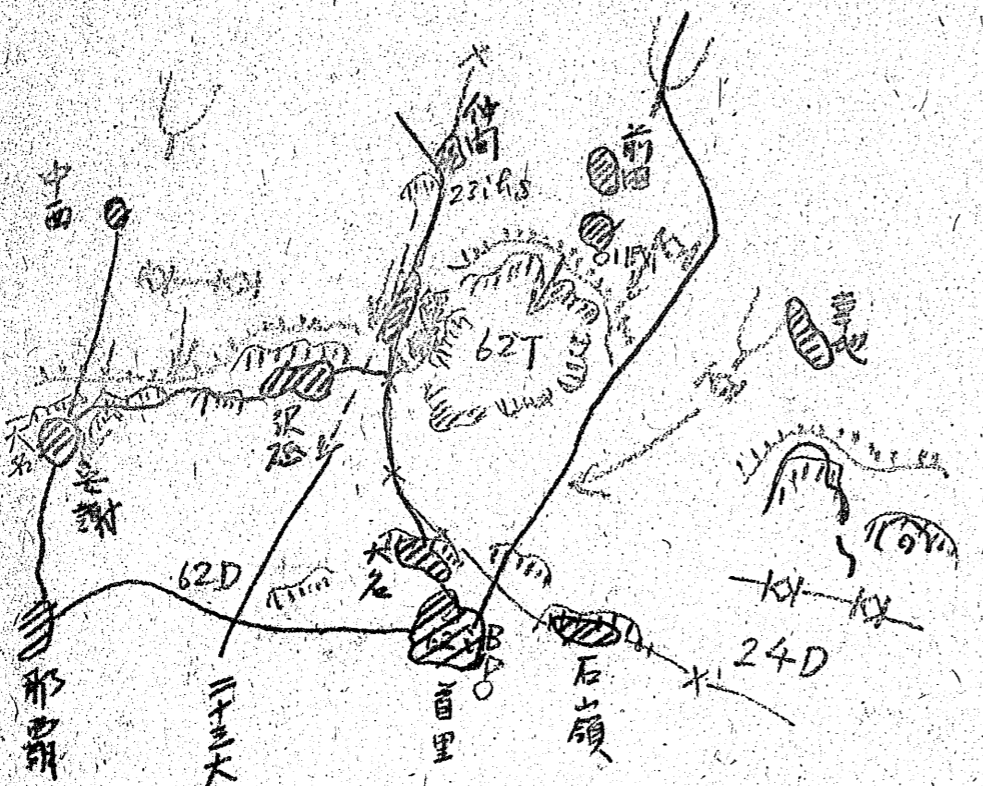
五月九日 仲向附近ニ於テ四月三十日具東馬東ノ状態ニ在リテ独歩下天
隊ノ援去ニ因リテハ所駐部隊ニ對シテ數次ニ直リ歩兵第六十三夜團
長ノ執行セシ所定部隊成功スルニ至ラス 本夜山本支隊ヲ以テ仲向

方面ヨリ師團輜重隊ヲ以テ前田方面ヨリ潛入シテ敵ヲ擾乱シテ力取去
持運ヲ援護セシム 兩部隊ハ日没後協同攻勢ヲトリ辛クニテ其目的
ヲ達成セリ 独歩第六十二大隊ハ既屬部隊ト共ニ翌十日未明腹去首軍
ヲニ後退シ同也ニ於テ態勢整理ニ次朝戰鬥ヲ準備セシム

五月十日 独三野戰高射砲第八大隊ハ最早火砲ニ依リ戰鬥力皆無トナリ
タル事戰鬥部隊改編シ其一中队ヲ歩兵第六十三夜團ニ殘部ノ一
中队ヲ歩兵第六十四夜團ニ既屬ス 又沖繩縣隊区司令部職員松

尾中佐以下百二十名ヲ既屬セラレ独三歩兵第六十二大隊ニ編合セシム
五月十日 軍第八師團ノ師團ノ戰鬥強度ニ減耗シ前田附近ノ戰況概
同ノ困難ナル狀況ニ即シテ第四師團ヲ以テ同也附近ヲ固弁セシメ敵
攻勢ヲ阻止シテ首軍中腹部ニ於テ止戰鬥準備ノ時向的余裕ヲ得
ヘク兩師團ノ戰鬥正面ヲ更ニ且ク陣地配備ノ交代向際ヲ防止

田界域地斗我围師二十六才
(几个示 = 15天季面云斗我日一十月五)



三十三大隊八百強更脱去次越二後直入

スル等回探由ニ現有スル師團隸ヲ指揮下部隊ヲ才二十四師團長ノ
 指揮スララシムル 仲向阿波禁附近ノ敵ハ司地ニ在リシ山本支隊ヲ
 春ニ下総塚南端ニ追去シ山本支隊ハ終ニ消息不明トナリ其上部
 ハ狭越北端附近ニ逼進シ了毛ノ一如シ當時ニ於ケル敵情並ニ戦斗地
 域无圖ノ如シ

五月十二日前日未消息不明ナリニ山本大隊ハ阿波榮南側ニ向健
本在ナレ共一戦カ極度ニ消耗シテ僅カニ部隊東部ニ其ノ後四五名ヲ有
スルニ過キク昨夜深更頃附近ニ後退シテ部隊ヲ集結シテ同夜附近ノ戦
斗ニ準備中ナリ西海岸方面ニ在リテ八數日東戦車數十輛ヲ伴フ
大部隊ノ攻勢ヲ受テ勅方理答、安謝、内向附近ノ橋長ヲ次々ト
奪取セリト其ノ事此ノ天久線ニ連テセリ

五月十三日阿波榮、内向、安謝附近ヲ制シテ敵ハ數十輛ノ戦車ヲ伴ヒ
一挙次盛ノ攻勢ヲ首里腹第一ニ突入セテ下期未歩兵ヲ十四旅團ノ
最堅固ナル沢底ヲ陣地ヲ狹撃ス入 同旅團ハ三カテ拳テテ抗戦シ甚
戦甚ク努力ナレ共極度ニ累ナレ共兵力差ハ如何トモナシ難ク遂ニ
精銳ヲ誇レルハ独歩ヲ二十三大隊ハ隊長以下殆ト全滅シ独歩
第十五大隊亦壊滅的打撃ヲ受テ沢底ニ退クニ至リ堅陣ハ遂ニ敵ニ
占有セラルルニ至リ 師團ハ首里北端附近ニ在リテ整備中ナリ

独歩第十三大隊及由十四大隊ヲ三テ首里腹部隊ナリ一部ヲ担任セシメ
大名木左衛門一独歩ヲ二十三大隊ノ主力及独歩ヲ十三大隊ヲ既ニ堅固ニ
テテ占領セシムルニ二十四師團長ノ指揮ナリ前田附近ニ位置セシ独歩十一
大隊及白砲ヲ一聯隊ハ夜ニ入りテ敵線ヲ破ルニ首里市平良所附近ニ後退
セリ